

THE KOBECO

NOVEMBER No.319
1987 11月刊神戸っ子

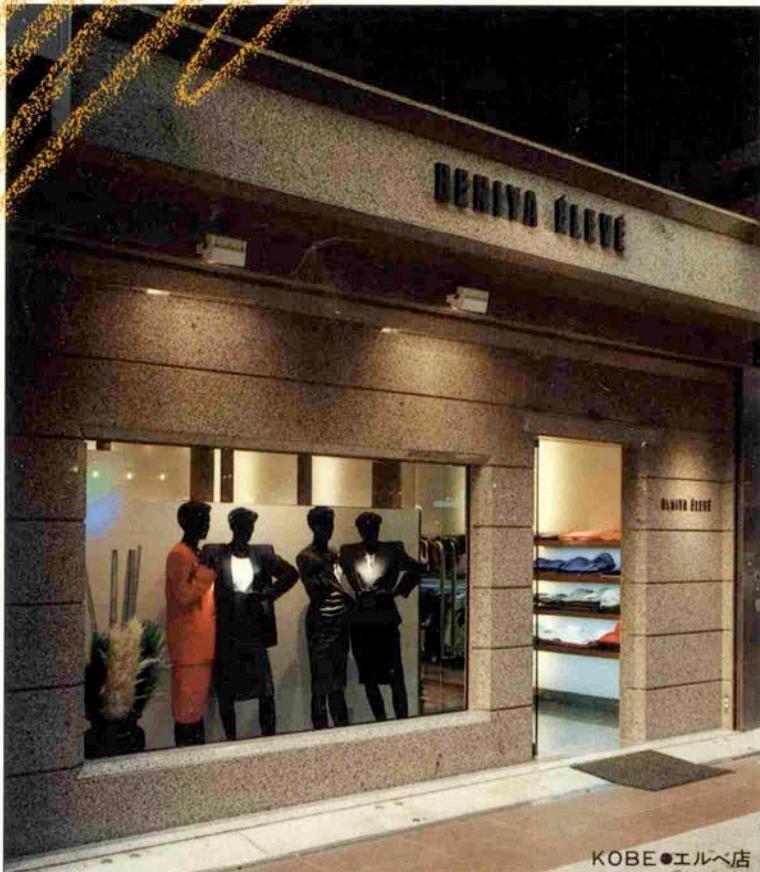
神戸っ子 昭和40年1月20日 第三種郵便物認可
昭和62年11月1日印刷 通巻319号 昭和62年11月1日発行
毎月1回1日発行



MORE CLASSICAL

この秋、浪漫スキヤンダル。

噂のファッショングースペース、リニューアル。
「わたし」だけの新しいときめき、見つけた。



KOBE・エルベ店



BENIYA

KOBE OSAKA TOKYO

本部 神戸市中央区三宮町1丁目10-1交通センタービル6F ☎078 (332) 3155~7



思わず、大人の表情をしてしまいました。

宝石たちの新世界。

田崎真珠

ブローチ/アコヤ真珠、ダイヤモンド/K18、Pt/1,200,000円

●いろいろな特典のあるプラスワンカードの会員募集中です。●この広告のお問い合わせは田崎真珠株企画広報部(TEL078-302-3321)まで。

田中紀子

ISMを着る

大阪音楽大学音楽学部ピアノ専攻、同大学院卒業。1980年、83年リサイタル。81年、83年、大阪フィルと協演。

武岡登士子、神沢哲郎、関晴子の各氏に師事し現在神戸音楽家協会会員、大阪音楽大学非常勤講師を務める。

KITANO-ISM-KAN



ISM PRESENTATION

〒650 神戸市中央区山本通2-66

TEL (078) 222-2818



神戸市中央区布引町1-1-10

☎ (078) 222-3641

AGALL

Eduardo Gómez
GALERIE MAEGHT
Paris - New York

www.galerie-maeght.com

© 1987 Galerie Maeght

Photo: Hervé Baudot

Design: Olivier Debré

Printed in France

by Ateliers de la Cité

1987

100 pages

12 x 17 cm

12

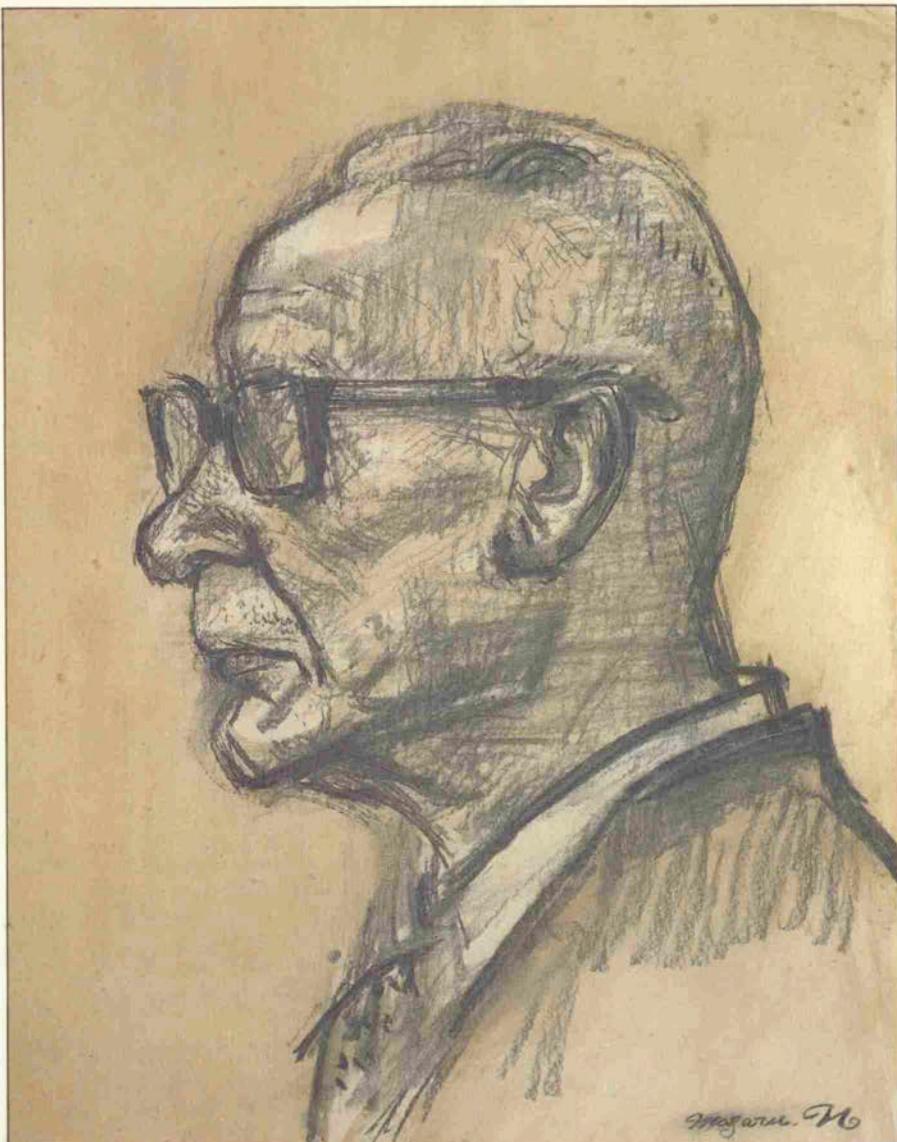
Second Cover

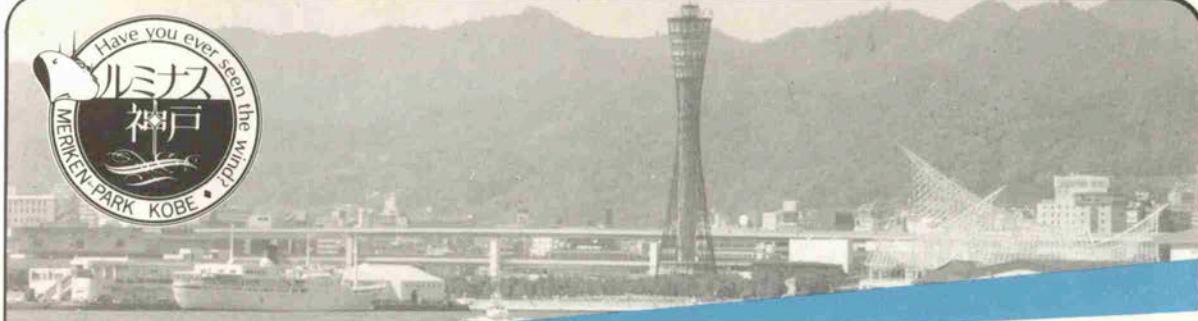
“顔”シリーズ〈11〉故中村雁治郎丈

此のお方を マジマジ シゲシゲと見つめながら描き続けた。

なるほど繪画的にも彫刻的にもさすが偉大なる造型の固まりであつた。

中西 勝（二紀会）





熊野 幸三 〈ルミナス観光株式会社
代表取締役〉

おかげさまで、今年の7月19日より営業を開始いたしました『ルミナス神戸』も、大好評で年末を迎えることが出来ました。

営業は'88年1月17日まで行い、3月11日まではドック入りし、3月12日より、また新たなスタートを切らせて頂きます。

さて、『ルミナス神戸』が初めて迎える、クリスマス・年末・年始に、皆様方に、なおいっそう船の旅を楽しんで頂けますようにと、それぞれの特別メニューを組んで、御乗船をお待ちしております。船の上で迎えるクリスマスや新年等、きっと御満足頂けると信じております。

ダイヤ (毎月曜日は運休、但し祭日の場合は翌日運休)			
予定コース	予定運行時間	運行期間	運賃
1便 明石海峡周遊	13:00~16:00	'87 9月1日~'88 1月17日 3月12日~4月26日 5月11日~7月19日	大人 2,500円 小人 1,250円 大人 2,500円 小人 1,250円
2便 大阪湾周遊	18:00~20:15		

* 1月18日~3月11日迄検査ドックの為運休

クリスマス・年末・年始 特別メニュー

★忘年会・新年会 鍋物コース(於:ビュッフェ、和室)

(11/20~1/17迄) 大人¥10,000 小人¥8,000

◎魚チリコース(タイ、カニ、車海老、蛤、その他)

野菜一式 付出つき

◎鴨鍋物 鴨(野菜一式) 付出つき

★クリスマスディナー (於:レストラン)

(12/22~12/26迄) 大人¥12,000 小人¥10,000

かきのブーリア風(かきのグラタン)

舌平目の海洋風

七面鳥のグリル オレンジソース

シャーベット

牛ヘレ肉のステーキ コゼンツア風

サラダ

チョコレートケーキ

コーヒー

パン 白グラスワイン付

(どちらも、乗船料・税・サ込 要予約)

中突堤発

瀬戸内クルージング

ルミナス観光株式会社

〒650 神戸市中央区海岸通5

商船三井ビル6F

TEL. 078-333-8480



B
A
S
E
L
T
MILANO

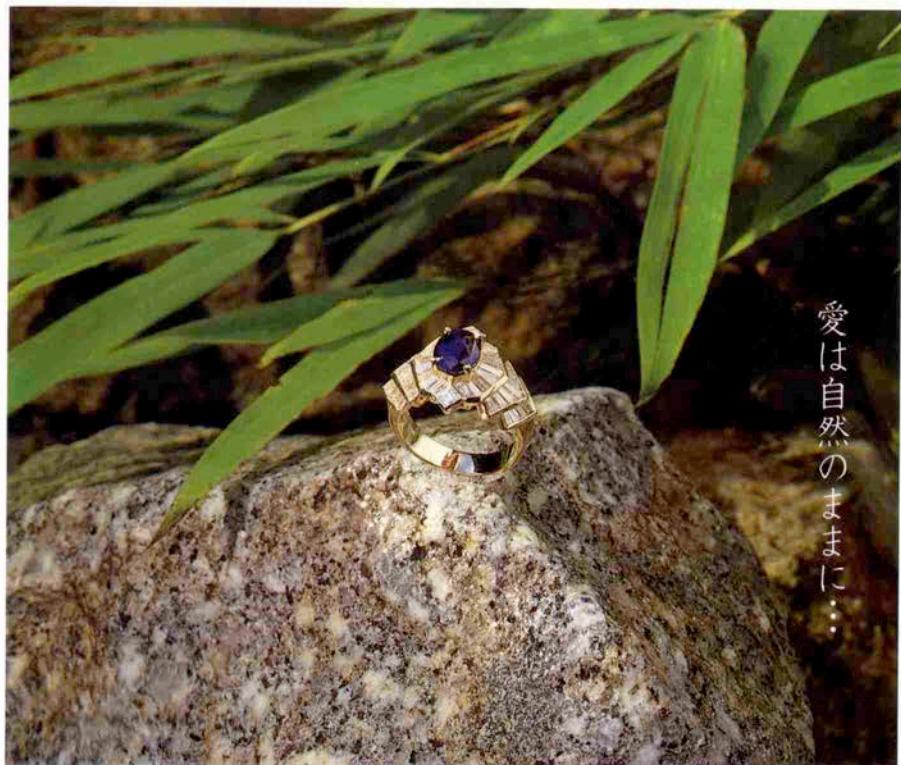
'87-'88秋冬 バジーレコレクション

洗練された簡潔美——つねにスタイリッシュなエレガンスの追求をして止まない、そしてシンプルに完成されたシルエットは、ひとクラス上の満足感を与えてくれます。



Sanohe

ヌーベルサノヘ(元町1番街) TEL 321-1710



愛は自然のままに…

Tajima
宝飾店 タジマ

元町2丁目 TEL 331-5761代表

'60年代の楽しい映画を復興させたい―上仲敏郎

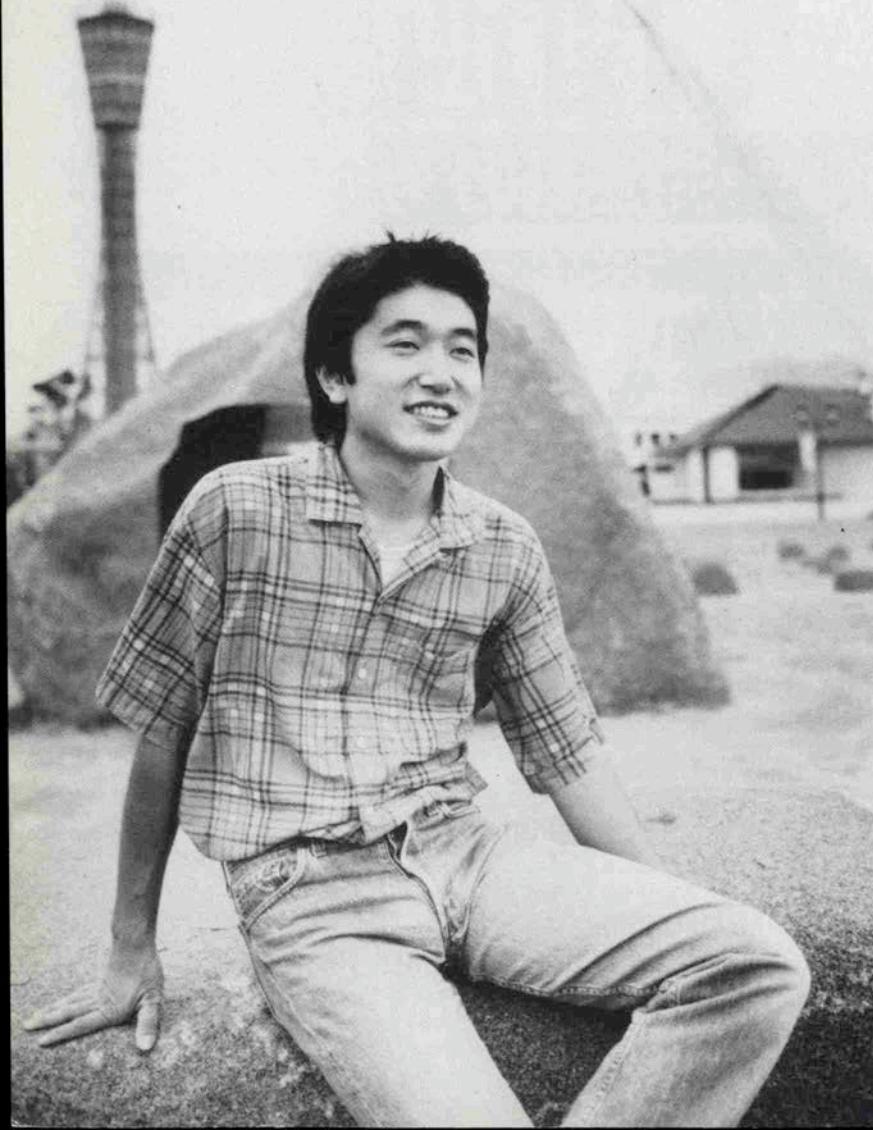
(映画監督) カメラ 松原卓也

映画は「夢の工房」である、と誰が言つたかは分らないが、少なくとも、ロマンを感じ、映画創りに情熱を傾ける人は多い。上仲敏郎さんも、そういう若者の一人で、5年かかって自主製作映画『さつちゃんの Moon Light 映画館』を、この度、完成させ、10月10日(祝)、大阪の扇町ミュージアムスクエアで上映会を行い、11月15日(日)には地元、神戸のシアターポシェットでも上映する。

「高校生の頃から映画を観ていて、いつか自分でも映画を撮つてみたいという気になり、大阪芸術大学芸術学部映像学科へ進んだんです。大学時代に、友人を集め、映画製作集団“カンガルーパンチ”を作り、これまでに『シンデレラは只冒険中』『傘男』等を監督してきました。これまでやつてこられたのも、その友人達の多大なる協力のおかげです。今度の『さつちゃんの Moon Light 映画館』は、ファンタジー系統の、の「×」を随所に利用した作品です。映画を見るということが、一つの行事であった懐かしい時代を、観客が思い出してくれれば嬉しいですね。」と語る。

ビデオの普及によって、若者が映画館に脚を運ばなくなつたという。しかし、映画自体にも、確かに「夢の工房」としてのパワーが無くなつている。そんな日本映画界に、神戸が生み、育てた上仲さんの才能が、旋風を舞き起こす日も近い。昭和35年1月17日生まれ。灘区在住

(メリケンパーク『映画記念碑』前にて)



新しい関西を創造する総合雑誌

オール関西

好評発売中 ¥580 (年間購読) 11月号



ビッグ対談

梅棹忠夫(国立民族学博物館館長)
VS
矢野暢(京都大学教授)



★経済人インタビュー
立石義雄氏
(立石電機社長)

特集

1. 国立民族学博物館大研究
2. 大阪ミナミ
活性化キャンペーン第六弾
三林京子ミナミをゆく・大阪ミナミ物語
3. 今年のお歳暮
私はこれに決めました。

見て楽しい読んで面白い知識・情報源
待望久しき関西のイヤーブック誕生!

関西年鑑 '88 年版

発行所／オール関西(株)

定 價／6,000円

昭和62年11月下旬刊行予定

予約受付中

●お問合せ・お申込みは
オール関西(株)まで

■オール関西株式会社/〒530 大阪市北区曾根崎2丁目15-24 曾根崎ビル4F ☎06-363-1255

子供たちに愛の調べを――中嶋常乃さん

(ソプラノ歌手)カメラ 池田年夫

「親のいない子供たちのために、音楽を通じて役に立ちたい」と、毎回多彩な音楽家が集まり北野のシアター・ボシエットで開催している「チャリティーコンサート『異人館の街に愛の調べ』」。昭和59年にスタートして以来、今年の10月25日の開催で9回目を数えるこのコンサートを企画したのが、灘区に住むソプラノ歌手中嶋常乃さん。大阪音楽大学などで声楽を学び、現在はイタリア声楽コンゴルソの審査員を務めるなど多方面で活躍している。コンサートを開くきっかけになつたのは、今から8年前に出会つたある里子の女の子。當時中嶋さん宅に歌とピアノを習いに来ていた暗く淋しそうな彼女が、音楽の楽しさを知るに従い、次第に明るい自信に満ちた少女に成長していく姿に感動してからである。そして、もつとたくさんの方々の恵まれない子供たちに音楽の楽しさを教えることはできなかつたかと考えていた頃、ちょうど歯科医の佐本進さんに出会い、氏の協力を得てシアター・ボシエットでのチャリティーコンサートを開催することになつた。

「最初は一回だけのつもりだつたんです。ところが開催するうちに協力者も増え、気がついてみたら9回目。みなさんのあたたかい気持ちが本当に嬉しいですね。」中嶋さん自身小さい頃から自分に自信を持つようになつたというだけあって、子供たちへの想いも限りなく優しい。

(自宅にて)



“知的柔み合い”で オー！チンチン

全員起立。“オーッ”的掛け声とともにチーンとグラスを二回合わせる。つまりオー！チンチン！組織開発研究所（略称OCC）の月一回の例会はこのようにして始まる。所長は佐川俊吉さん。会員は現在37名。本年創立8周年を迎えた。

名称からは、如何にも堅物揃いのようだが、実は正反対。仕事にも遊びにも、常に柔軟さと機敏さを売り物にする紳士淑女（但し自称）の集まりである。しかしながら、設立主旨には「実験都市といわれる神戸およびその周辺で各界の第一線で活躍している有志が集まり、その理論と実際を叩き台にして論議し、研究し、調査を重ね、いわゆる不確実性時代に対応するための組織開発の手がかりを得ようとする」と格調高く唱われている。つまり、かような硬派のアプローチに手腕を発揮できる面々が、旨い料理と酒を仲立ちに、さらに“知的柔み合い”をやろうというのがOCCである（コレ褒めすぎ）。

（写真前列左から）黒沢弘（カワノ株式会社生産部長）、田中侃（神戸市住宅局建築部長）、高橋良雄（垂水区長）、佐川俊吉（株創設計事務所代表）、小林純子（角田内外国特許事務所）、福留裕子（神戸市立看護短大教授）、広垣良泰（南垣急送代表）、（後列左から）月岡清市（南岡倉庫代表）、杉本孝郎（杉本形成外科医師長）、永野良子（兵庫県保健環境部）、大原秀子（茶道教授）、齋藤安宏（神建産業株代表）、角田嘉宏（角田内外国特許事務所代表）、木村禮子（小原流生花教室）、伊丹誠（高崎酒類販売専務）、加藤雅子（加藤編集教室）、川口政二（株大八美業代表）の皆さん

ある集い□組織開発研究所



青春真つ只中

元地泰子（神戸フラウエンコール）

「さて合唱というものは、性格も考え方も違う数十人の人間が音を媒体として心を通わせ作りあげてゆく音楽であると思うのですが、一口にそういうても、中々簡単なことではないことを練習をすればする程痛感している」とは指揮者の弁。 楽譜がよめて、歌詞を覚え、自分だけが頑張ってみても、所栓はお邪魔虫回りの人の声を聞き、他のパートを聞き、指揮棒の動きと一体になつてはじめて実力を上回るハーモニーが生まれれる。全て「心」が接着剤、十五年もたつたのだからうまくなり過ぎて……。 つてな訳にはいかない。白髪がふえ、シワがふえ、ドレスのサイズが大きくなり、なんとはなしに悲劇的、気の合う人やら合わぬ人、いろいろあつたのに、今ではこんないい仲間はめつたにやいないと思つようになつてしまつた。四十年代は若者で、五〇代は花のまつ盛りそれ以上歳は食わない人ばかり。 それぞれの歌に秘められた人生の歴史を、つづつてみたいと、ひと味違うリサイタルめざして総勢只今青春まつさかり。若返りお望みの方、ぜひ一緒に歌いましょ。見学は自由です。

■一五周年リサイタル

十一月二十九日 三時開演

神戸文化ホールに於て
練習日 毎週金曜午前十時から
十二時まで

文化ホール 第一練習室にて

ある集い□神戸フラウエンコール





Beautiful eye

わたしとメガネ



個性の香り高いフレームを

川上 勉

〈オールスタイル(株)取締役会長〉

毎朝、笑い、喜び、讃嘆、感謝に目が覚める、とにかく語られる川上さん。ファッションに携わっていらっしゃるだけあって、洋服からメガネまでトータルなお洒落を楽しんでいらっしゃいます。

東京オフィス、神戸本社、車、自宅、旅行用と、最低5個は持っているフレームも、その時どきの服装に合ったもの、そして、奥様と一緒に時の時に映るように心掛けておられるとか。

センスに富んだ、質の高い、個性豊かな生活を目指す川上さん。メガネライフがますます広がりそうです。

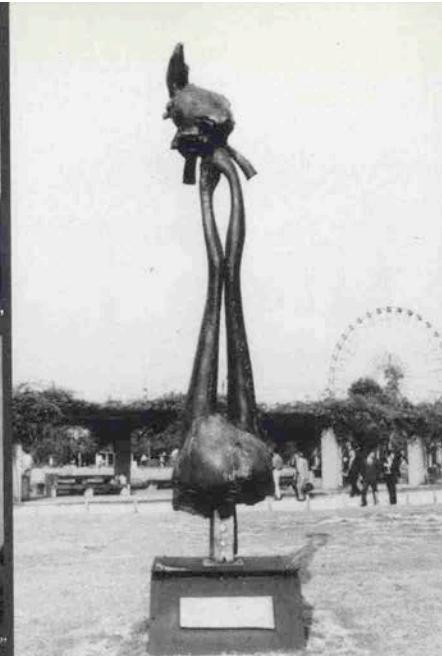
眼鏡
メガネ
神戸・丸の内
☎(078)331-1123



神戸開港120年記念賞を受賞したニオ金一氏の“北の人”



神戸市都市公園賞を受賞した長谷川総一郎氏の“午後のクラウティバーグ”



開会式(上)とテープカット(下)



読売賞を受賞した市川明廣氏の“森のシマウマ”



神戸市長賞を受賞した小田信夫氏の“ブロンズの神様へ”



挨拶する宮崎市長(左)と本間正義選考委員長(右)

●コウベスナップ

秋のポートアイランドに現代彫刻の新しい波

1983年からスタートし、常に新しい具象彫刻界の流れを示唆する全国規模の野外彫刻展として注目されている『神戸具象彫刻大賞展』が、10月1日から11月10日までポートアイランド南公園で開催されている。主催は神戸市、読売新聞社、読売テレビ放送。回を重ねて3回目を迎える今回は、全国各地より106点の作品が応募、そのうち33点の入選作品が広い南公園いっぱいに展示されている。絶好の秋晴れに恵まれたオープニング当日は神戸国際会議場において主催者の挨拶と各賞の授賞式、また展示会場においてテープカットが行われた。